

国際交流

韓国渡航

2019.11.18~21

韓国の姉妹校を訪問

11月18日(月)~21日(木)、3泊4日姉妹校である韓国大田市・大田保健大学、聖母病院、李眼科医院进行1・2年生男女6名(引率1名)が訪問した。

本校は2017年10月11日に韓国・大田保健大学校と姉妹校提携を結んだ。2018年10月には大田保健大学校のダンス部が来校し交流活動が始まり、同年11月には本校生徒も大田保健大学校を訪問する関係となった。表敬訪問では、両校の更なる発展と交流活動を進めることができる。本校生徒が研修旅行で現地の施設、設備に触れ、医療人を目指す意義や心構えを肌で感じることができると思う。また、交流を通じて多様性に触れ、国際教養力およびライフスキルの向上を図り、本校での取り組みがより一層充実すると考える。

佐々木 敬太 <健康と安全推進部 執行部長>記







生徒感想文★韓国姉妹校表敬訪問を終えて

2年男子 S.Y. 所沢市立東中学校出身

大学生の方々と一緒に買い物をしたり、食事をする中で、言語が違って他国の人々と通じ合うことができることを実感しました。また、今回の研修では、韓国の医療について学べたことはもちろん、観光を通じて、歴史についても深く触れることができたので良かったです。この経験を明日からの学校生活に活かしていきたいです。

1年男子 S.K. 上尾市立西中学校出身

この4日間の研修を通して、親日の方々が多く、日本語をたくさん学んでいる韓国の方がいることが嬉しかったです。そしてお互いの文化を尊重できるのが素敵だと思いました。また、観光中に現地の人から日本が好きだと話しかけてくれたことにとっても感動しました。韓国について様々な面から触れることができ良い経験となりました。

1年女子 H.T. さいたま市立宮原中学校出身

大田保健大学校で学生の方々と交流した際に、お互いの言語は違いますが、心を通わせて楽しく過ごすことができました。また、施設見学では最新技術や機械をたくさん見せてもらい韓国の医療技術の高さを感じることができました。

2年男子 R.T. 朝霞市立朝霞第四中学校出身

大学では、看護学科や放射線学科などの各学科の最先端の医療技術を見学させてもらい、とても貴重な時間を過ごすことができました。また、系列の医療機関を訪問した際には、実際の医療現場を見学させていただき、韓国の医療水準の高さを目の当たりにしました。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

2年女子 R.F. 越谷市立北陽中学校出身

今回の研修旅行を通して、コミュニケーションの大切さを学びました。言葉が上手く通じない相手に対しても、スマートフォンのアプリケーションなどのツールを使いながら、自分から積極的に話しかけることが大切だと実感しました。今後、医療人を目指していく上で、人との接し方についてよく考えていきたいと思いました。

2年女子 M.E. 川口市立榛松中学校出身

研修先の人々や観光地の店員さんは皆、優しく接して下さり、相手を思いやる気持ちや細かな気配りの大切さを実感しました。将来、医療人を目指しているので、常日頃からこの考え方をもちながら、他者と接していきたいと思います。